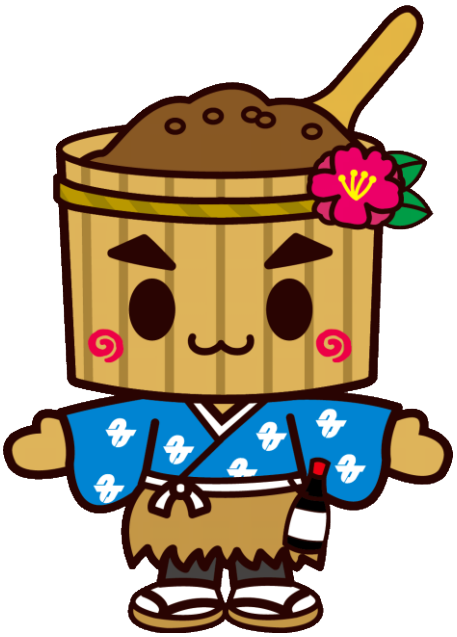
武 豊 町 雨 水 排 水 計 画 書

～心やさしく安全で快適な基盤づくり～

（令和７年度～令和１６年度）



武　豊　町

◆はじめに

武豊町は、安全で快適な生活環境を実現し、住民の生命、財産等を水害から守るため、雨水排水対策を鋭意実施してきました。特に、昭和５１年度からは、都市下水路及びポンプ場の整備に着手し、その結果、市街地の排水対策は急速に進み、概ね５年に一度程度降る大雨（時間降雨量 56 ㎜/h）に対応できる施設構造となりました。

しかし、平成１２年９月の東海豪雨を始め、５年に一度の確率を超える規模の降雨とこれによる浸水被害が発生したことから、平成 17 年度以降は雨水排水計画で、東海豪雨と同程度の大雨（10 年に一度程度降る大雨(時間降雨量 68.6 ㎜/h））に対応できる雨水施設整備を推進してきました。

本計画は、令和７年度から令和１６年度までの雨水排水計画です。雨水排水計画実施状況を検証し、地区別の浸水リスクを適切に評価した雨水整備の優先度の検討を改めて行い、優先度が高い地域を中心に整備が完了した区域も含め、気候変動により将来の降雨量の増大に対応できるように事前防災の考え方に基づいた浸水対策を追加して整備を推進する。

◆整備目標

○気候変動を考慮した 10 年に一度程度降る大雨（時間降雨量 72.8 ㎜/h）に対応できる施設整備、老朽化した施設の改築、及び長寿命化を目指します。

◆整備基本方針

（１）雨水管理総合計画で指定した地区の雨水施設整備に努めます。
（２）老朽化した既設排水施設の改築等による機能向上と長寿命化により、施設信頼度の回復に努めます。
（３）住宅地の開発など、土地利用計画に合わせた雨水施設整備に努めます。
（４）既存施設を有効活用した効率的な雨水施設整備に努めます。
（５）透水性舗装など雨水流出量の抑制に効果のある施策を推進します。
（６）排水路の安全性を高める改修を推進します。

◆整備計画（令和７年度～令和１６年度）

（１）雨水管理総合計画による排水路整備

○「浸水被害額」と「地域重要度」の評価により決定した地区の排水能力の強化を図ります。

前期：R7～11　後期：R12～16

整　備　箇　所		整備時期	
		前 期	後 期
①	北中根地区	←	
②	六貫山地区		→
③	石田川左岸地区		→

（２）老朽施設改築更新（長寿命化）

○老朽化した既設排水路の改築更新を推進します。

○老朽化した大足第１ポンプ場施設の改築更新を推進します。

○老朽化した上ケ第２ポンプ場施設の改築更新を推進します。

前期：R7～11　後期：R12～16

整　備　箇　所		整備時期	
		前 期	後 期
①	既設排水路（町内全域）	←	→
②	大足第１ポンプ場		→
③	上ケ第２ポンプ場		→

（３）土地利用計画に合わせた雨水施設整備

○土地利用状況に対応した雨水排水路の整備を推進します。

前期：R7～11　後期：R12～16

整　備　箇　所		整備時期	
		前 期	後 期
①	浦島川水系	←	→

（４）既存施設の有効活用

〇受益地がなくなりため池としての機能が不要となった施設について、低水管理するための改修工事を推進する。

前期：R7～11　後期：R12～16

整　備　箇　所		整備時期	
		前 期	後 期
①	中山新池		← →

（５）雨水流出量の抑制

〇透水性舗装等雨水流出量の抑制に効果のある施策を推進します。

〇民間の事業者の方々や住民の方々にも協力をいただき雨水流出量の抑制施策を推進します。

前期：R7～11　後期：R12～16

整　備　箇　所		整備時期	
		前 期	後 期
①	透水性舗装等	←	→

（６）排水路の適切な管理の推進

〇排水路の蓋掛け等による安全対策、臭気対策を推進する。

〇楠南地区について、排水路及び用地の適切な管理を推進します。

前期：R7～11　後期：R12～16

整　備　箇　所		整備時期	
		前 期	後 期
①	六貫川		← →
②	楠南地区		← →

◆排水体系（雨水排水・河川・ため池）

武豊町の水系は、雨水水系８水系と河川水系８水系の全１６水系に分かれます。

●雨水排水は、下記の８水系です。

番号	水　　系	排水面積(ha)	雨 水 幹 線	放 流 先
①	上ヶ第１水系	59.5	上ヶ第１雨水幹線 塩田雨水幹線	上ヶ第１ポンプ場 経由 衣浦港
②	上ヶ第２水系	38.2	上ヶ第２雨水幹線	上ヶ第２ポンプ場 経由 衣浦港
③	大足第１水系	29.5	大足第１雨水幹線	大足第１ポンプ場 経由 衣浦港
④	大足第２水系	21.2	大足第２雨水幹線	衣浦港
⑤	下 田 水 系	28.1	下田雨水放流幹線 下田雨水幹線	衣浦港
⑥	石 田 水 系	13.0	石田雨水幹線	衣浦港
⑦	砂 水 水 系	15.8		衣浦港
⑧	篭 田 水 系	30.6		衣浦港

●河川水系は、下記の８水系です。

番号	水　　系	排水面積(ha)	水系河川	主要ため池	放流先
①	二級河川 石川水系	405.0	普通河川石川 砂防河川石川	長成池 大日池	衣浦港
②	準用河川 浅水川水系	282.0	普通河川鹿狩川 砂防河川伝蔵川 梨子ノ木雨水幹線	鹿狩池 中山新池 伝蔵池	衣浦港
③	二級河川 堀川水系	686.1	北中根雨水幹線 長尾山雨水幹線 六貫山雨水幹線 多賀雨水幹線 普通河川甚田川	六貫山新池 上原新池 上原池 アサリ池 大高新池	衣浦港
④	準用河川 浦島川水系	63.4		熊野池	衣浦港
⑤	二級河川 新川水系	439.6	砂防河川新川 砂防河川高代川	別層池 大豆池 新砂池 畑田池 高代池 東廻間池	衣浦港
⑥	準用河川 北川・石田川 水系	192.0	砂防河川石田川	道兼下池 久原下池 久原中池 久原新池 久原上池	衣浦港
⑦	準用河川 笠松川水系	94.7		稲荷池 大脇池	衣浦港
⑧	小松川水系	23.5			衣浦港

◆検証結果について

（１）既存施設の有効活用については、中山新池の受益地がなくなり、ため池としての機能が不要となりましたが、低水管理をするための改修が必要となることから今後も計画を継続します。

（２）老朽施設改築については、②が整備完了しました。①については、計画年度内工事は、ほぼ計画通り整備してきましたが、今後も引続き整備を行います。③、④についても改築更新を推進します。

（３）土地利用計画に合わせた雨水整備については、①について今後も計画を継続します。②は整備方針を雨水管理総合計画による排水路整備とし、今後も計画を継続します。

（４）雨水流出量の抑制については、町施行新設歩道、区画整理事業、及び民間開発による歩道整備について実施しました。今後についても整備を継続します。

この検証結果を基にして、令和７年度から令和１６年度までの武豊町雨水排水計画を考えます。